

## 東お多福山活動報告

### ※秋の植生調査及び外構の笹刈り

令和元年 10 月 2 日(水) 参加者: 斧田一陽 田島聖子

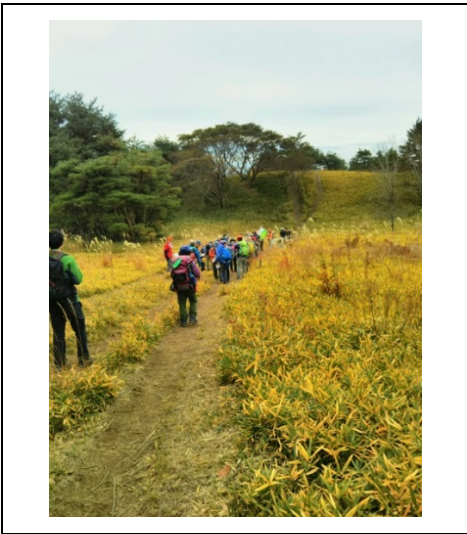
文: 森脇肇子

2ヶ月の間をおいて久しぶりに各団体からいつもの面々が集まり総勢 49 名、山岳会からは 2 名とやや少な目の人数乍らいつもの要領で作業を開始。リーダーの橋本氏、観察部会及び 2 名の外部専門家は植生調査に回り、その他の大多数は前回 7 月に刈り残した特別保護区眺望点周辺のネザサ刈りを行う。いつもより多い 8 台の刈り払い機が稼働し、刈り取られたネザサはビニールシートで廃棄場所に運ばれる。この作業は中々の重労働！山岳会の 2 名は眼下に芦屋カントリークラブを見渡す眺望点の背の高いネザサを鎌で午前、午後併せて 20ha 程刈り取る。心配した雨も降らず曇り空の下良い汗を流す。登山道脇にテイショウソウ、コウヤボウキを見つけ、その他ケシロヨメナ、シラヤマギクが登山道を彩り、アキノキリンソウ、オミナエシ、ノアザミを散見し、秋の訪れを感じる。

### ※晩秋の全面刈り

令和元年 11 月 23 日(土) 参加者: 斧田一陽 桐村登美 枝田島聖子

文: 森脇肇子



快晴に恵まれ風もなく絶好の作業日和、参加者も 71 名に上り 2 つの班に分かれて全面刈りを行う。始業前にまず全員でコラード 2・3・6 の背丈の高いススキの刈り取りを行う。これは束ねて干しておき翌年芽ぶき材料に使う為、その後の山岳会は他の団体と共にコラードで作業を始める。コラードには 2 台の刈り払い機が入ったが慣れないせいか午前中は中々作業が進まずその間我々は木の枝打ちと周囲や斜面の手刈りに精を出す。午後からはまだ咲き残っていたリンドウの周り等を機械で刈り取られない様に丁寧に刈り取ったりする。2 時過ぎ迄作業を行い後道具の片付け等をして 2 時半頃下山。土曜日で祭日でもあり多くの登山客が行き交う中での楽しい作業でした。